

# 平成18年度行動計画評価結果の概要

平成19年7月 東北農政局

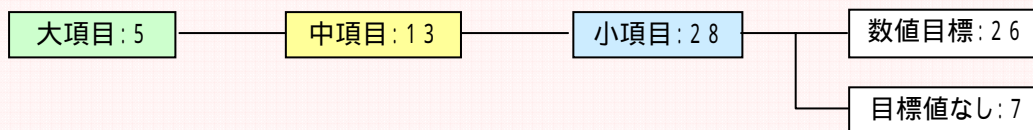
東北農政局では、農政局が取り組む施策の実施がどのような効果をもたらしたか。設定した目標値に対して達成度を測ることにより、「企画立案(Plan)」、「実施(Do)」、「評価(Check)」、「改善(Action)」のサイクルを確立することで、よりの確な施策を展開するとともに、国民への的確な情報提供を通じた透明性の高い行政の実現を図ることを目的として、行動計画に基づく評価を実施しています。

以下に、平成18年度の行動計画に基づく評価結果の概要を紹介します。

## 平成18年度行動計画評価結果の概要

平成18年度の行動計画は、「新たな食料・農業・農村基本計画」に基づく課題に対して、平成17年度の評価結果も反映しつつ、5分野(大項目)の課題ごとに13の中項目、それに対応した28の小項目(数値目標を定めない7項目を含む)について、26の数値目標を設定して取り組みました。

各目標値に対する達成状況については、別添「評価結果の総括表」を参照してください。



## 達成状況からみた評価結果の全体像

目標値の達成率からみた達成状況は、下表のとおりです。

達成率90%以上のAランクが16項目(61.5%)、50以上90%未満のBランクが4項目(15.4%)、50%未満のCランクは0項目で、未確定等6項目(23.1%)となっています。

なお、実績未確定のものについては、確定しだい順次公表していく予定です。

評価体系			達成ランク別目標値の数			
			A	B	C	未
食料自給率の向上	中項目:1	小項目:1	-	-	-	-
食の安全・安心と食料の安定供給の確保	中項目:3	小項目:5	3	1	-	2
農業の持続的な発展	中項目:5	小項目:16	11	3	-	(1) 4
豊かで住みよい農村の振興	中項目:3	小項目:4	2	-	-	-
国民参加型農政の推進	中項目:1	小項目:2	-	-	-	-
大項目:5	中項目:13	小項目:28	16	4	-	(1) 6

A:90%以上 B:50以上90%未満 C:50%未満 未:未確定

( )は中間値で表示した項目で内数

## 1. 実績が目標を超えている主な項目

「米紛パンの学校給食への普及」は、青森、宮城、秋田県でほぼ全県的な米粉パン供給体制が整うとともに、関係者に対し普及推進を図った結果、実施校が増加したと考えられます。

今後、更なる定着を図るとともに、導入の少ない3県(岩手、山形、福島)に対し、普及に向けた対応を図ります。

「地産地消推進計画の策定地区数の増加」は、地域振興に向けて自治体の熱心な取組により、地場産農産物の地域内消費が進み、食料自給率の向上に繋がることが考えられます。

「認定農業者の増加」は、品目横断的経営安定対策への加入促進のためのキャラバンや説明会(市町村等関係団体:3,813回、集落座談会等意見交換会:2,892回)の開催等、積極的な活動が認定農業者の増加に繋がったものと考えられます。

「エコファーマーの増加」は、消費者の食の安全・安心に対する関心の高まりや、農家の地域ぐるみによる環境保全米への取組など、高付加価値農産物に対する意識が向上し、環境保全型農業の取組がますます促進されるものと考えられます。

## 2. 目標を達成できなかった主な項目

「食事バランスガイド等を参考に食生活を送っている国民の割合」については、各種イベントの開催等を通じ、「食事バランスガイド」等の普及に努めたものの、目標値には達しなかった。

今後は、広報・PR手法を工夫しながら各種イベント等を活用し、「食事バランスガイド」等の普及促進に努めます。

「野菜産地強化計画策定数」が目標を達成できなかった要因は、19年度からの新たな価格制度の導入に関連し、策定期限が19年12月まで延期されたこと、また、産地によっては担い手である「安定的・継続的生産者」の確保のため、認定農業者への誘導に時間を要し、計画の年度内策定に至らなかったこと等が考えられます。

なお、19年4月以降、新たに86産地において計画が策定され、19年6月現在、達成率は87%(274/313)になっています。

## 平成18年度行動計画評価結果総括表

### 食料自給率の向上

中項目	小項目	目標値設定項目	単位	H18 目標	H18 実績	達成 率
1 食料自給率向上の取組の推進	(1) 関係者と一体となった食料自給率向上の取組の推進	(定性的に判断)		-	-	-

### 食の安全・安心と食料の安定供給の確保

中項目	小項目	目標値設定項目	単位	H18 目標	H18 実績	達成 率
1 食の安全及び消費者の信頼の確保	(1) 表示の遵守状況の確実な改善	・名称の不公正表示店舗率の削減 (名称)	ポイント	4.8 (27.0)	未確定	
		・同 (原産地)	ポイント	5.3 (29.9)	未確定	
	(2) リスクコミュニケーションにおける理解度の向上	・リスクコミュニケーション参加者のうち説明、資料、意見交換等について理解できたとする人の割合	%	80	72	90%
2 食育の推進と国産農産物の消費拡大	(1) 「食事バランスガイド」等を参考に食生活を送っている国民の割合の増加	・食事バランスガイド等を参考に食生活を送っている国民の割合	%	30	21	70%
	(2) 地方公共団体の食育推進計画の取組支援	(定性的に判断)		-	-	-
	(3) 米の消費拡大	・米粉パンの学校給食への普及	校	1,200	1,330	111%
3 地産地消の推進	(1) 地場産農産物の活用促進	・地産地消推進計画の策定地区数の増加	地区	20 (98)	43 (121)	215%

### 農業の持続的な発展

中目標	小目標	目標値設定項目	単位	H18 目標	H18 実績	達成 率
1 担い手の育成・確保 - 品目横断的経営安定対策の円滑な導入 -	(1) 認定農業者、特定農業団体の育成・確保と品目横断的経営安定対策の円滑な加入推進	・認定農業者の増加	経営体	6,276 (44,100)	7,302 (45,126)	116%
		・特定農業団体等の増加	組織	1,800	320	中間値 (4/27)
	(2) 新たな人材の育成・確保	・新規就農者数	名	1,000	未確定	
	(3) 女性の参画促進への取組	・女性認定農業者数	名	169 (1,103)	未確定	
		・女性起業家	件	100 (2,203)	101 (2,204)	101%
(4) 担い手への農地利用集積の促進	・利用権設定面積	ha 千ha	3,000 (88)	未確定		

中項目	小項目	目標値設定項目	単位	H18 目標	H18 実績	達成 率
2 米政策改革の 推進	(1) 全生産調整方針作成者 が地域協議会に参画しうる 体制づくりの推進	・生産調整方針作成者 の地域協議会への参 画割合の向上	%	100	100	100%
3 ニーズに的確 に対応した国内農 業生産・流通体制 の確立	(1) 新品種小麦の栽培面積 シェアの拡大	・小麦栽培面積におけ る新品種栽植率	%	31.4	31.9	102%
	(2) 高品質でニーズに応じ た大豆生産の推進	・大豆の上位等級比率	%	46.0	47.3	103%
	(3) 野菜産地強化計画策 定数の増加	・野菜産地強化計画策 定数の増加	産地	313	188	60%
	(4) 果樹産地構造改革計画 策定数の増加	・果樹産地構造改革計 画策定数の増加	産地	55	60	109%
	(5) 肉用牛生産の振興	(定性的に判断)	箇所	-	-	-
	(6) 自給飼料増産の推進	飼料増産重点地区数	箇所	6 (24)	7 (25)	117%
	(7) 農業と食品産業との連 携の促進	国内農業者等との契約 による原料調達を行っ ている食品産業の割合 向上	%	60	40	67%
	(8) 農林水産物の輸出の促 進	東北の地方自治体、生 産者団体等による輸出 促進の取組数	件	25	25	100%
	・[サブ]商談の成約件 数	件	110	100	91%	
4 農業生産の基 盤の整備	(1) 担い手の育成・確保の 契機となる農業生産基盤整 備の推進	・水田の汎用化等の農 地の整備面積の増加	ha 千ha	3,000 (409)	2,963 (409)	99%
5 自然循環機能 の維持増進とバイ オマス利活用の 推進	(1) 持続的な農業生産方式 の推進	・エコファーマーの増加	農家	6,358 (37,000)	13,692 (44,334)	215%
	(2) バイオマスタウン構想の 策定	・バイオマスタウン構想 策定市町村数	市町 村	7 (19)	6 (18)	86%

### 豊かで住みよい農村の振興

中項目	小項目	目標値設定項目	単位	H18 目標	H18 実績	達成 率
1 農地・水・環境保全 向上対策の円滑な導 入	(1) 農地・水・農村環境 保全向上活動支援実験 事業の着実な実施	(定性的に判断)		-	-	-
	(2) 新たな農業生産環 境施策確立調査事業の 着実な実施	(定性的に判断)		-	-	-
2 農村経済の活性化	(1) 中山間地域等直接 支払制度の推進	・協定面積全体に占め る「前向きな取組を行う 集落等の協定面積」	千ha	50.2	52.8	105%
3 都市と農村の共 生・対流と多様な主 体の参画の促進	(1) 都市と農山漁村の 共生・対流の取組みの 促進	・農林漁業体験施設等 への入り込み客数	千人	5,000	4,493	90%

## 国民参加型農政の推進

中項目	小項目	目標値設定項目	単位	H18 目標	H18 実績	達成 率
1 地域農政の推進に 向けたコミュニケーションの強化	(1)食料・農業・農村施策 に関する各種意見交換 等の実施	(定性的に判断)		-	-	-
	(2)食料・農業・農村施策 に関する情報や地域情 報の積極的な受発信	(定性的に判断)		-	-	-

(中項目:13)	(小項目:28)	(目標設定項目:26)	( )は累計を表す			
----------	----------	-------------	-----------	--	--	--